

第143回(令和7年12月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

＜問題＞

1. 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V形式）を使用して＜テーブル定義＞を基にテーブルを作成し、＜処理条件＞に従って＜出力例＞のような表を完成し、印刷しなさい。
- 文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. テキストデータは DB4 フォルダ内のデータを使用する。
3. 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜テーブル定義＞

エリアマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	エリアC O	長整数型	10
	エリア名	テキスト型	東北

※エリアマスタ.csvの1行目は項目名とする。

請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	請求番号	長整数型	1001
	顧客名	テキスト型	三栄
	エリアC O	長整数型	20
	請求金額	長整数型	59800

＜処理条件＞

- 請求金額が10万円を超える請求金額一覧表を作成する。
1. それぞれのエリアC Oを関連付けしなさい。
- ＜出力例＞のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。
- 請求金額が100,000より大きいレコードを抽出しなさい。
- 〔処理結果件数：6件〕
2. 表を作成しなさい。
- 表題は“請求金額一覧表（10万円超）”とする。
- データの並び順は請求金額の降順とし、表の形式は＜出力例＞のとおりとする。

＜出力例＞

請求金額一覧表（10万円超）				
請求番号	顧客名	エリアC O	エリア名	請求金額
1010	佐藤工業	30	九州	121,000
		}		
1006	佐藤工務店	10	東北	100,600

第143回(令和7年12月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

従業員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	従業員C○	長整数型	101
	名前	テキスト型	森下 清花
	時給	長整数型	1330

※従業員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

勤務テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	従業員C○	長整数型	101
○	年月	長整数型	202504
	勤務時間	長整数型	80

<処理条件>

勤務時間が120時間以上の支給額一覧表を作成する。

- それぞれの従業員C○を関連付けしなさい。

従業員C○・年月ごとに支給額を求めなさい。

支給額＝時給×勤務時間

勤務時間が120以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6件]

- 支給額の合計を求めた表を作成しなさい。

表題は“支給額一覧表（120時間以上）”とする。

データの並び順は勤務時間の降順で支給額の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

支給額一覧表（120時間以上）				
従業員C○	名前	年月	勤務時間	支給額
122	田代 教子	202508	125	147,500
		}		
103	黒田 こずえ	202508	120	159,600
合 計				XXX,XXX

第143回(令和7年12月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品ＣＯ	長整数型	101
	商品名	テキスト型	コピー用紙A4
	単価	長整数型	3480
	区分ＣＯ	長整数型	2

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分ＣＯ	長整数型	1
	区分名	テキスト型	文房具

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上年月	長整数型	202506
○	商品ＣＯ	長整数型	101
	数量	長整数型	100

<処理条件>

- 9月以前のデータを削除し、区分別の売上一覧表を作成する。
- <売上テーブル>の売上年月が202509以前のレコードをすべて削除しなさい。
[削除件数：185件]
 - <売上テーブル>・<商品マスタ>の商品ＣＯを関連付けしなさい。
売上年月・商品ＣＯごとに売上額を求めなさい。
売上額＝単価×数量
[処理結果件数：144件]
 - <処理条件>2.の結果と<区分マスタ>の区分ＣＯを関連付けしなさい。
区分ＣＯ・区分名・商品名ごとに売上額を集計（合計）しなさい。
売上額を集計は“合計売上額”とする。
合計売上額が300,000以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：9件]
 - 区分ＣＯ・区分名ごとにグループ化し、区分ＣＯ・区分名ごとの合計売上額の平均を求めた表を作成しなさい。
表題は“区分別売上一覧表（30万円以上）”とする。
データの並び順は区分ＣＯの昇順で合計売上額の降順とする。
合計売上額はすべて通貨表示とし、平均は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

区分別売上一覧表（30万円以上）			
区分ＣＯ	区分名	商品名	合計売上額
1	文房具	平 均	¥XXX, XXX
		布テープ	¥632, 800
		油性ペン太	¥315, 000
		}	
3	書類整理	平 均	¥XXX, XXX
		ラベルシール	¥729, 600
		パイプファイルA4	¥397, 500
		}	

第143回(令和7年12月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

社員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	1001
	社員名	テキスト型	深沢 永人
	店舗CO	長整数型	200

※社員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

メニューマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	メニューCO	長整数型	11
	メニュー名	テキスト型	カット
	料金	長整数型	3300

※メニューマスタ.csvの1行目は項目名とする。

店舗マスタ

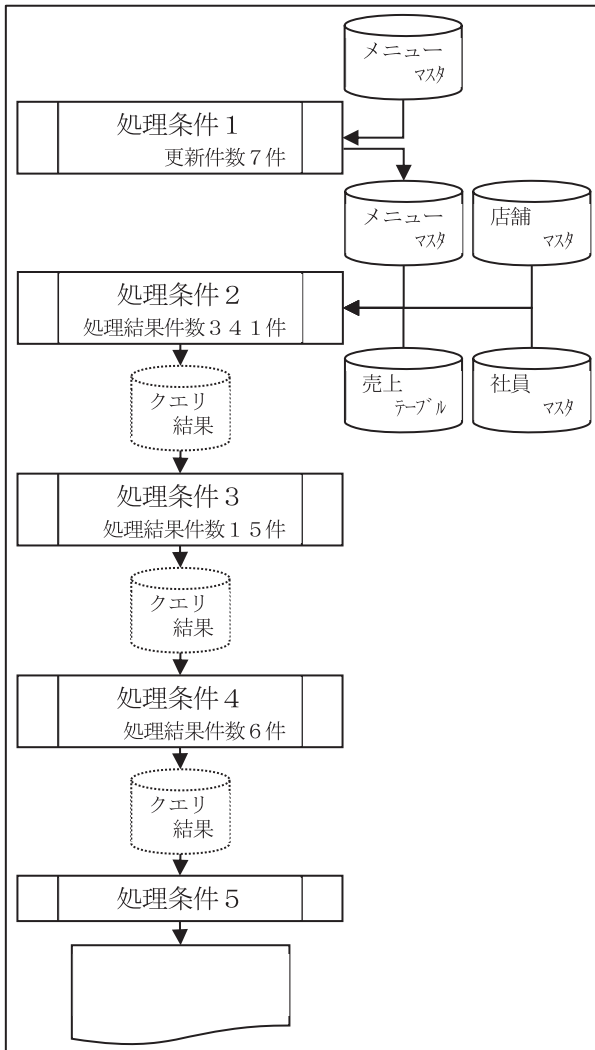
KEY	項目名	データ型	データ例
○	店舗CO	長整数型	100
	店舗名	テキスト型	緑川町店

※店舗マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上日	日付/時刻型	2025/9/1
○	顧客CO	長整数型	10004
○	メニューCO	長整数型	11
	社員CO	長整数型	1011
	指名フラグ	長整数型	1

<処理フロー>



<処理条件>

料金を更新し、2025年11月以降のメニュー別社員平均売上一覧表を作成する。

- 料金が5,000より大きいレコードの料金から500を減算し、更新する。
- 社員CO・メニューCO・メニュー名・店舗名ごとに料金を集計（合計）する。
料金の集計は“売上金額”とする。
売上日が2025/11/1以降を抽出する。
- メニューCO・メニュー名と店舗名ごとに売上金額を集計（平均）する。
- メニューCOが20以上を抽出する。
- 表を作成する。
表題は“メニュー別社員平均売上一覧表”とする。
データの並び順は明石沢店の昇順とし、緑川町店・中央原店・明石沢店は整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

メニュー別社員平均売上一覧表				
メニューCO	メニュー名	緑川町店	中央原店	明石沢店
25	まつ毛エクステ	11,667	15,833	10,000
		}		
20	縮毛矯正	64,063	64,286	72,222